＜先週の説教から＞

『平和聖日―聖書の平和論 』

ミカ書 ５：３～４　エフェソの信徒への手紙 ２：14～18

本日の礼拝は平和聖日として献げています。この平和聖日が持たれるようになった経緯には、私が 12 年間弱務めさせて頂いた前任地の広島教会が深く関わっています。それは 1945 年８月６日に広島に原子爆弾が落とされ、その時に被爆された牧師たちが、戦後、このような悲惨な原子爆弾が二度と用いられることのないようにと声を上げ始め、ようやく 1962 年１０月に持たれた教団総会に『平和聖日制定議案』が提出されたものだからです（正式にはその年 12 月に開かれた教団常議委員会にて、８月第一聖日を平和聖日とすることが決定）。

その運動の中心となった牧師が、当時の広島教会の牧師であった四竈一郎牧師でした。四竈先生はご自身だけでなくご家族のほとんどが被爆されました。特に、長女の佑子（ゆうこ）さんをこの時に亡くされています。１７歳の高校生でした。また、上記の教団総会に平和聖日議案を提案するために開催された第１０回西中国教区総会（1962 年５月に持たれた）は広島教会の会堂で持たれたものでした。

このように平和聖日の制定に広島教会が関係していたため、以来、平和聖日では様々なプログラムが教会内で毎年持たれています。何より大事にされていたのは、この日の礼拝の中で『広島教会原爆死没者名簿』が毎年読み上げられます。広島教会に関わる方々で原爆の直撃を受け亡くなられた 33 名の方のお名前を牧師が読み上げるのです。また、礼拝の後には信徒やその家族の方から毎年「被爆証言」や戦争体験談をお聞きする時が持たれます。その後、原爆や戦争に関する勉強会が持たれるのでした。私もその度に大切な学びが出来たことを深く感謝しています。ただ、一方でこの平和聖日が単に原水爆禁止や戦争反対だけで終わっていいものかという素朴な思いも持ってきました。勿論、被爆も戦争も二度と起こしてはならないことですが、聖書の告げる“平和”はもう少し広く、かつ深さを持ったものではないかと。

今日の聖書の箇所に、平和とは「二つのものを一つにする」ことだと言われています。「敵意という隔ての壁を取り壊す」ことだと。まさにそのことをイエス様が私たちのために為してくださったのだと。ここには具体的に２つの「隔ての壁」があったと言われています。一つはユダヤ人と異邦人の間にあった壁であり、イエス様が「規則と戒律ずくめの律法を（十字架により）廃棄された」ことによって取り払われたのだと言われ、もう一つの壁は神様と人間の間にあった壁であり、それも「十字架によって敵意（＝神様と人間の間にある）を滅ぼされました」と。このことは、私たちにとって、①他者との関係と②神様と私との関係の両方に“平和”が必要であること、この二つの事柄は切っても切れない関係にあることを教えてくれています。

私たちは、民族や人種の違いだけでなく、対人関係でどうしても越えられないなあと思ってしまう「隔ての壁」の存在を強く感じる時があります。背を向けたままで和解できないままの関係があったりします。それに対して今日の箇所は、まず上記の②である、神様との和解を為すことで私ども自身が少しでも変えられて行くことで、次の①との平和も可能になってくるということではないでしょうか。その点を今日の箇所は「キリストは双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し」「それで、このキリストによってわたしたち両方の者が一つの霊に結ばれて」行くことが可能になるのだと語り掛けているのです。

なかなか、相手がこっちを向いてくれることが難しい関係ならば、せめて私が「新しい人」に少しでも変えられて行くことで、両者の関係が少しでも近づくことへと導かれたい！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

◉聖書研究・祈祷会 Ⅰ.
Ⅱ.

休　会

【教勢報告】

主日礼拝	男 18	女 54	計 72
祈祷会 Ⅰ.		休 会	
祈祷会 Ⅱ.		休 会	
日曜学校		休 校	

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　８月 １５日（日）

聖　書：　エレミヤ書　４０：１～４

ヨハネの黙示録　２１：９～２１

説　教：「黙示録６３ ― 新しい都にて」

武田 真治 牧師

讃美歌：　５７、３２、３５１、３９８、９１(1)

【次週当番表】

司式：相浦　長老　奏楽:羽倉長老　礼拝:茨木長老

献金：長老　　受付：長老

会堂準備：小杉　富澤　長田　橋本

小林

【次週集会予定】

No. ６２－３２

週　報

2021 年度　教会標語

「信仰に支えられて、共に生きよう！」

２０２１年　８月　８日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33

TEL＆FAX　048－771－6549

http://www.ageo-church.org/